




COPY CONTROLLER

CC-22

INSTRUCTION MANUAL

この度はアドギア製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

ご使用前に、必ずお読みください。

 安全にご使用頂くため、次の事を必ずお守りください。

1. 設置に関して

1-1. 設置環境



引火性の気体あるいは液体のそばには設置しないでください。スイッチ等の操作で火花が飛んで火災が起こる危険性があります。また、腐食性の気体あるいは液体のそばには設置しないでください。腐食により、絶縁不良を起こし、機器故障、火災の原因になります。その他仕様で定められた環境に於てご使用ください。

1-2. ラックマウント



ラックマウントする時は、特別の規定が無い限り5mmのISOネジを使用し、それに合ったドライバーを使用して、取り付けてください。5kgを越える機器を取り付ける時は、二人で作業し、一人はラック後面から機器を支えてください。4本の取り付けネジはラックイヤーの下側のネジから取り付けてください。それ以外の方法で取り付けると、怪我をする場合があります。

1-3. 供給電源電圧の確認



日本国内向けのアドギア製品の供給電源電圧は特別の仕様でない限りAC100V ± 10%となっています。これ以外の電圧が加えられずと正常に動作しないばかりか、機器の故障あるいは火災の危険があります。

必ず規定の電圧を供給してください。

DC電源仕様機器の場合は規定の直流電源を正しい極性で供給してください。

DC電源仕様の機器にAC(交流)電源を供給すると機器の故障や火災の原因になりますので絶対にこの様な事はしないでください。

1-4. 電源供給



電源プラグをコンセントに差し込む時は本体の電源スイッチがOFFになっている事を確認してから差し込んでください。電源スイッチがONになったまま電源プラグを差し込むと、操作スイッチやボリュームの設定によっては接続されている機器の故障を招いたり予期せぬ動作により怪我あるいは死亡事故の原因になる危険性があります。

1-5. 機器カバーを外して内部の設定をする時

内部にある設定スイッチを操作する等、機器カバーを外さなければならなくなった時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを差したまま作業をすると、機器故障の原因になるばかりでなく感電等で火傷を負ったり電気ショックにより死亡する危険性も

あります。

尚、この時電源のコンデンサーに電荷が残っている場合がありますので電源OFF直後のこの様な作業はやらないでください。(コンデンサーの放電を待つ為最低3分必要です)

2. 運用中の安全確認

2-1. 電源プラグの清掃



電源プラグ付近に埃が溜まるとその埃が湿気を吸って短絡し、火災の原因になる恐れがあります。定期的に点検清掃を行ってください。点検間隔は設置環境によります。

3. 保守における安全確保

3-1.

[1.設置に際して]の注意がそのまま適応されます。



3-2. その他



機器をラックから取り外す時は電源プラグをコンセントから抜いた後、行ってください。また、ラックマウントねじを外す順番は、上のねじから先に外してください。5Kgを越える機器は二人で作業し、必ず一人は機器を支えてください。

CONTENTS

| | |
|-------------------------------|-------|
| GENERAL | 4 |
| SPECIAL FEATURE | 4 |
| OPERATION | 5 ~ 7 |
| FRONT PANEL | 5 |
| 1. RECORD SOURCE SELECT | |
| 2. RECORD LEVEL | |
| 3. REC MUTE | |
| 4. PLAYBACK SELECTOR | |
| 5. GAIN TRIM | |
| 6. MONITOR LEVEL | |
| 7. HEADPHONE | |
| 8. POWER | |
| REAR PANEL | 6 |
| 9. LINE IN | |
| 10. PLAYBACK INPUT | |
| 11. MONITOR OUT | |
| 12. RECORD OUTPUT | |
| 13. LINE OUT | |
| 14. GND | |
| 15. AC 100V | |
| 16. FUSE | |
| 17. MUTE REMOTE | |
| 録音時の信号の流れ | 7 |
| 再生時の信号の流れ | 7 |
| CALIBRATIONS | 8 ~ 9 |
| 1. 入力レベルの設定 | |
| 2. 出力レベルの設定、調整 | |
| 3. モニターアウトのモード設定 | |
| TECHNICAL SPECIFICATION | 10 |
| BLOCK DIAGRAM | 11 |
| APPEARANCE | 12 |

GENERAL

CC-22 Copy Controllerは、レコーディングスタジオ等のプロオーディオの現場で、CDやDATに代表されるコンシューマー機のクオリティーを損なう事なく使用する事を目的として開発されたプロスペックのオーディオコピーコントローラーです。

+4dBu、アクティブバランスの入出力に加え、カセットやDAT等の録再機は4台まで接続が可能。さらにCD等の再生機専用の入力(AUX)も装備されています。

また、モニターアウト端子をパワーアンプに接続すれば、簡易モニター/ダビングシステムを組む事もできます。

SPECIAL FEATURE

曲頭のカウント切りに便利なレックミュート機能(外部リモート対応)

全ての再生入口にレベル微調整の為にゲイントリムを装備

ヘッドホンによるモニターが可能

プロスペックの為に音質重視設計

簡易モニターシステムの為にモニターアウト端子を装備

OPERATION

FRONT PANEL

1. RECORD SOURCE SELECT

ダビング時のソースを選ぶ為のスイッチです。
PROGRAM、レコーダー1、2及びAUXのからいずれか一つを選択します。

2. RECORD LEVEL

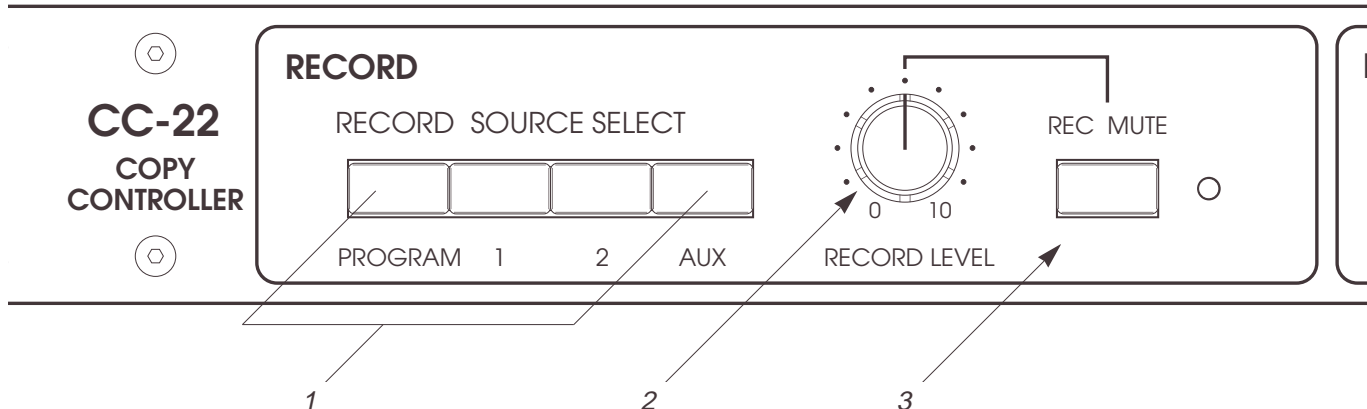
ダビング時の録音レベルを設定します。

3. REC MUTE

このスイッチが押されているあいだはレコーダーにはなにも録音されません。

曲頭のカウントや曲間のクレジット等余計な部分を取り除くとき使用します。

また、この機能は外部からのリモコンも可能です。(P. 6-14 MUTE REMOTE 参照)



4. PLAYBACK SELECT

モニターしたいソースを選ぶ為のスイッチです。
何も押されていないときは録音のソースを聞く事ができます。

5. GAIN TRIM

レコーダーごとに再生レベルの微調節ができます。
最初のセットアップのとき各レコーダーの再生基準レベルを調整します。以後ダビング時等にはP. 5-2のRECORD LEVELの調整のみで作業を進める事ができます。

6. MONITOR LEVEL

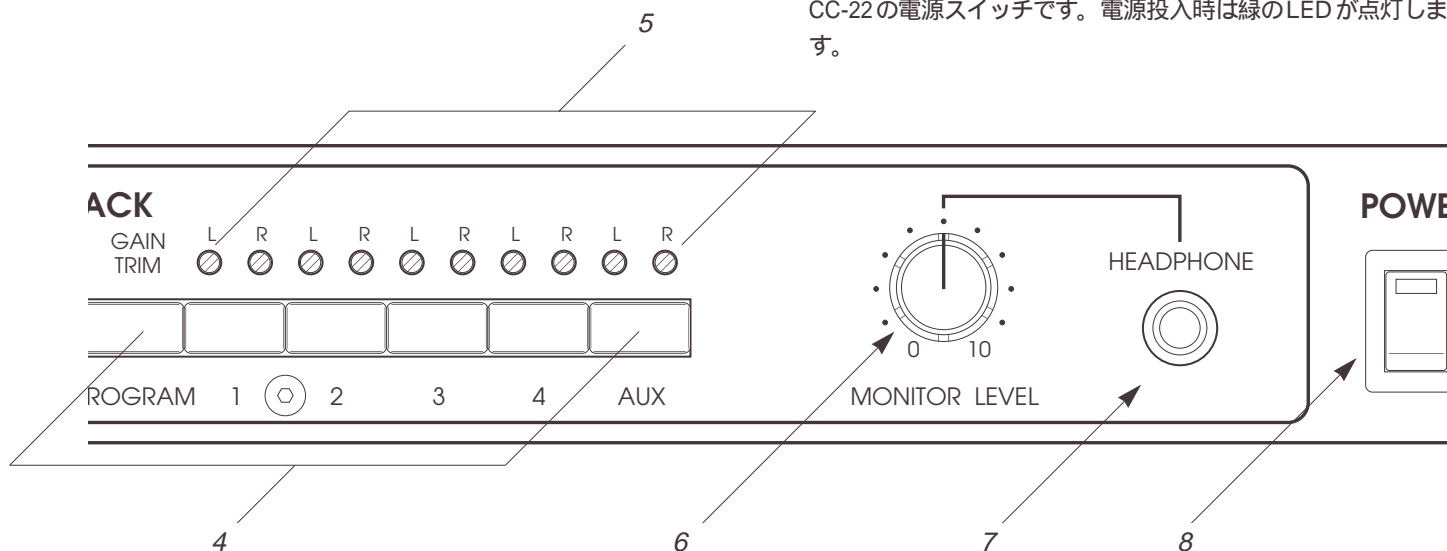
P. 5-4のPLAYBACK SELECTORで選択されたソースをヘッドホンでモニターする際のボリュームです。また、内部のジャンパースイッチを切替る事によりMONITOR OUT (ピンジャック)のレベルもコントロールできます。【工場出荷時はPREにセットされています】

7. HEADPHONE

モニター用ヘッドホンジャックです。(6.3 標準ジャック)

8. POWER

CC-22の電源スイッチです。電源投入時は緑のLEDが点灯します。



OPERATION

REAR PANEL

9. LINE IN

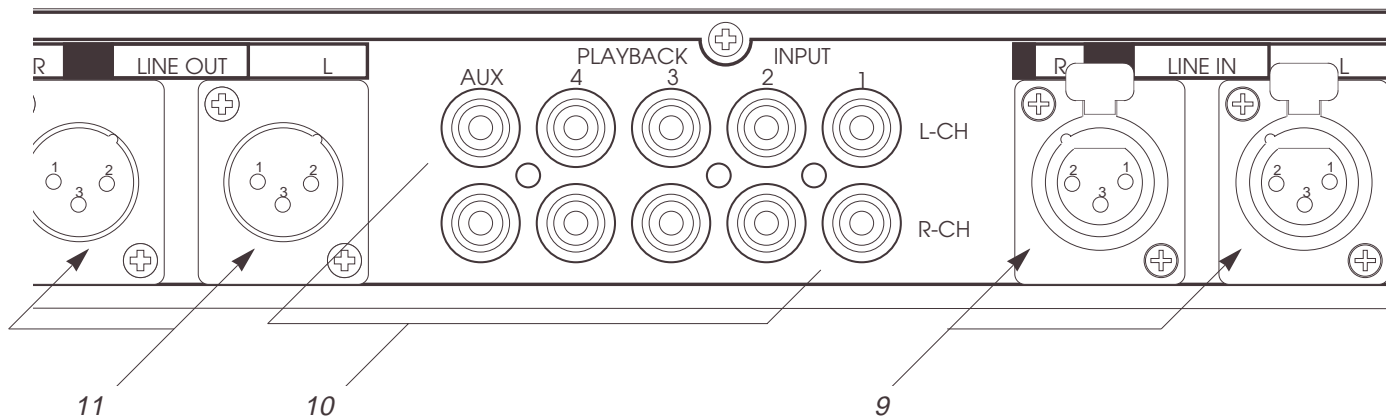
コンソール等のステレオ出力を接続します。
ここに入力されたソースはフロントパネルのPROGRAM となります。
(内部ジャンパースイッチで+4dBu/-10dBuの切替が可能)

11. LINE OUT

コンソール等のステレオプレイバック入力に接続します。
P. 5-4のPLAYBACK SELECTORで選択されたソースが出力されます。
(内部ジャンパースイッチで+4dBu/-10dBuの切替が可能)

10. PLAYBACK INPUT

カセットデッキ、DAT、CD等のラインアウトを接続します。
AUXは再生専用です。ここに入力されたソースはP. 5-5のGAIN TRIMによりレベルの微調整が可能です。



12. RECORD OUTPUT

カセットデッキ、DAT、CD等のラインインに接続します。

15. FUSE

1Aの管ヒューズを使用します。

13. MONITOR OUT

P. 6-9のLINE INと同じものが出力されます。(-10)
ただし、内部のジャンパースイッチにより、P. 5-6のMONITOR LEVELによってコントロールされたものを出力させる事もできますので編集室等の単独のシステムで使用する場合に便利です。

16. AC 100V

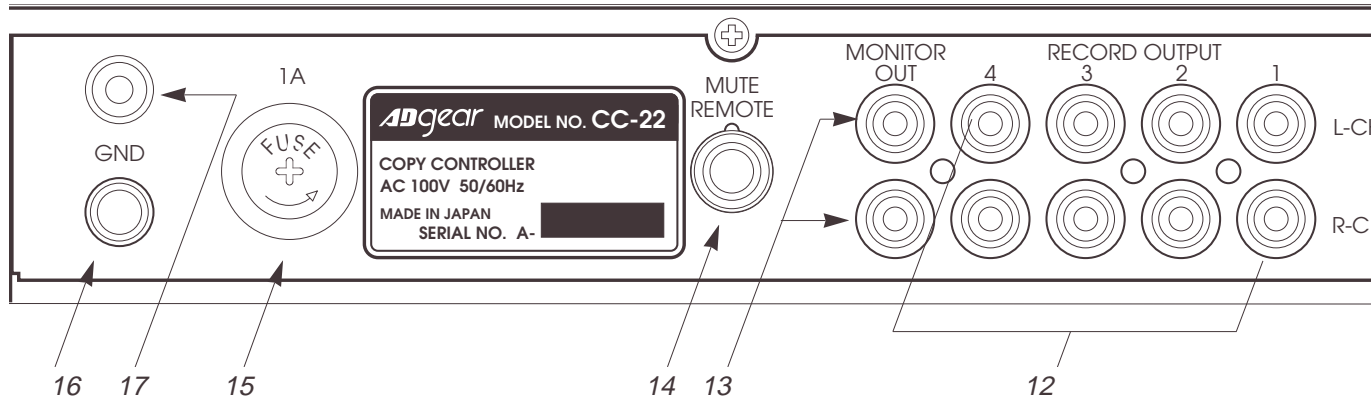
CC-22のAC入力です。
AC100V 50/60Hzで使用して下さい。

14. MUTE REMOTE

P. 5-3のREC MUTEを外部からコントロールする為のジャックです。
フットスイッチやイベントコントローラー等の接点出力を接続する事ができます。

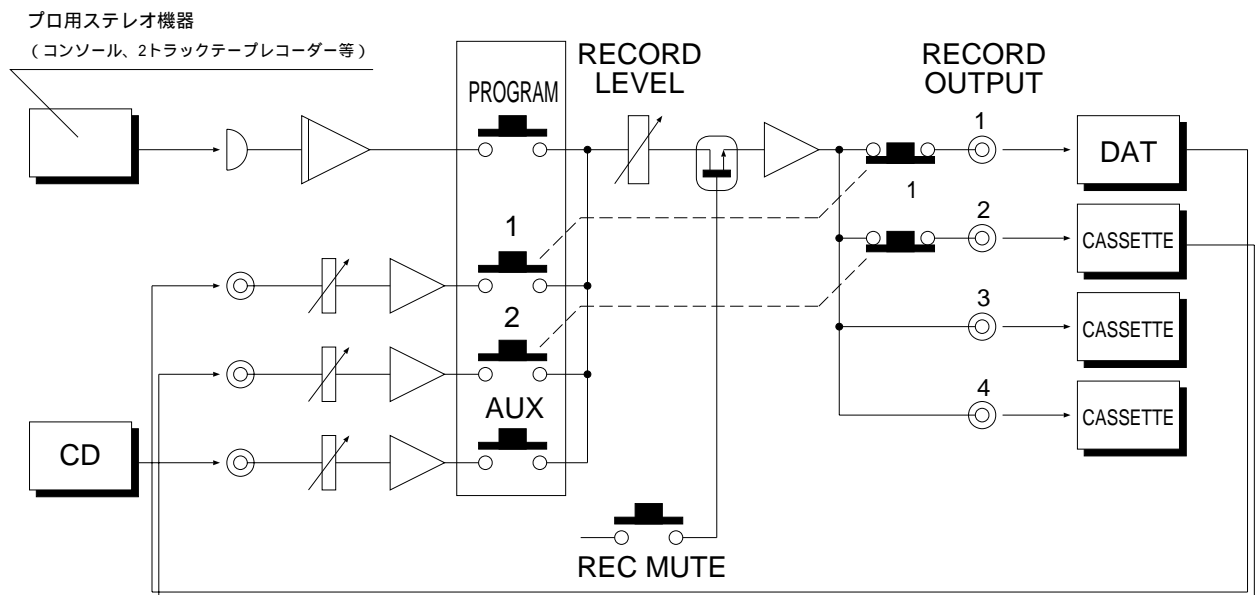
17. GND

CC-22のフレームグランド端子です。
ハム等のノイズが多い場合他の機器と接続してください。



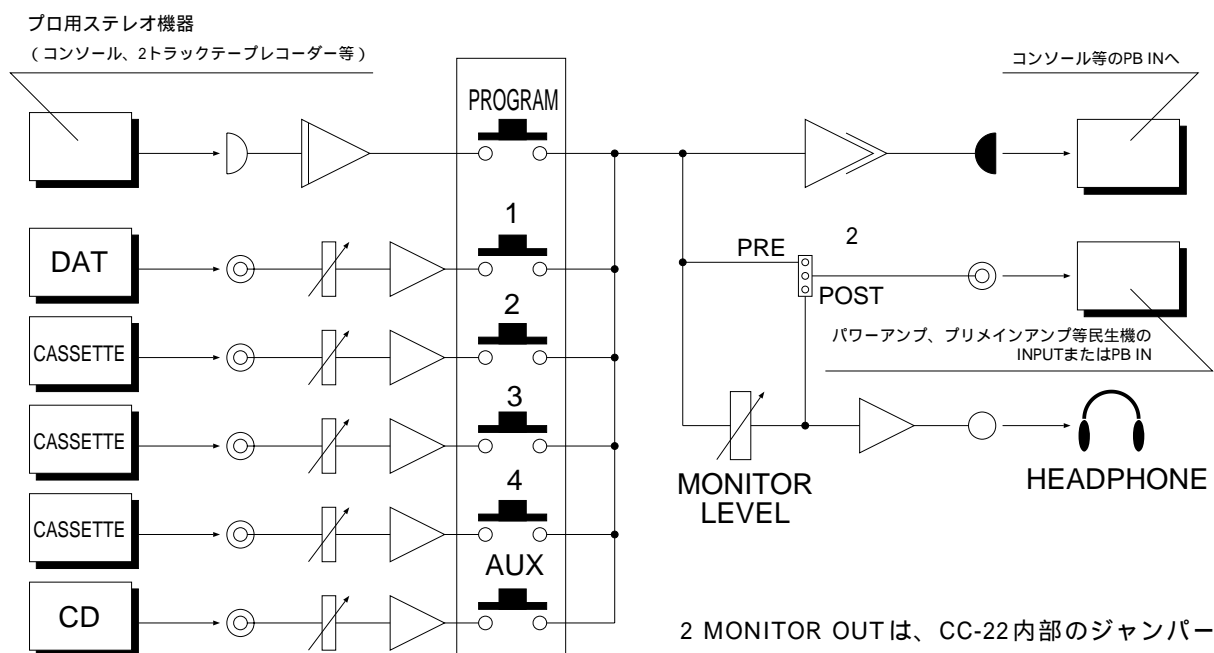
OPERATION

録音時の信号の流れ



1 カセット、DAT等のダビング時には、ハウリング防止回路が作動します。

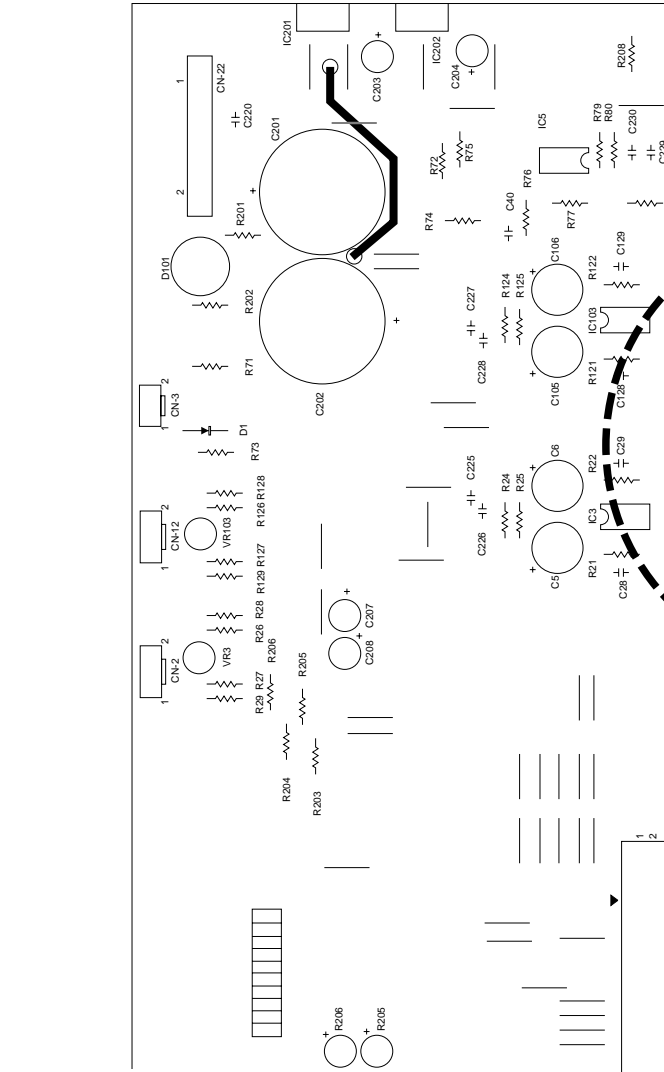
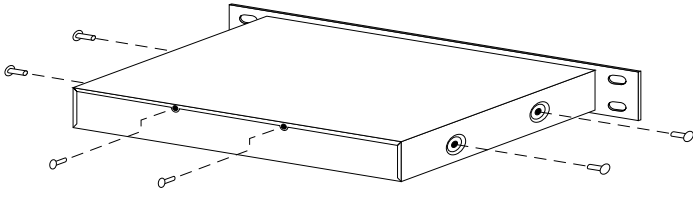
再生時の信号の流れ



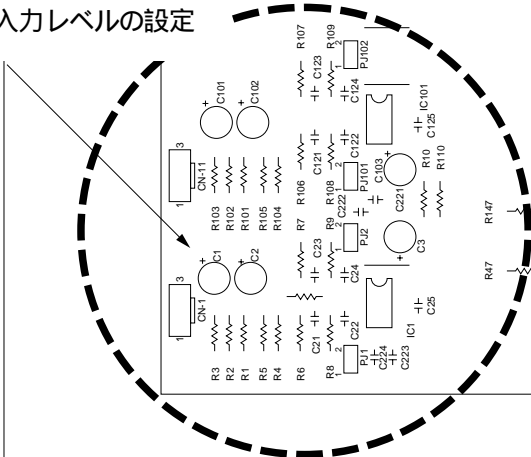
2 MONITOR OUTは、CC-22内部のジャンパーにより、MONITORボリュームのPRE/POSTが選べます。パワーアンプを接続する場合はPOST、プリメインアンプの場合はPRE、といった様に使用状況に応じて選択してください。
【工場出荷時はPREにセットされています】

CALIBRATIONS

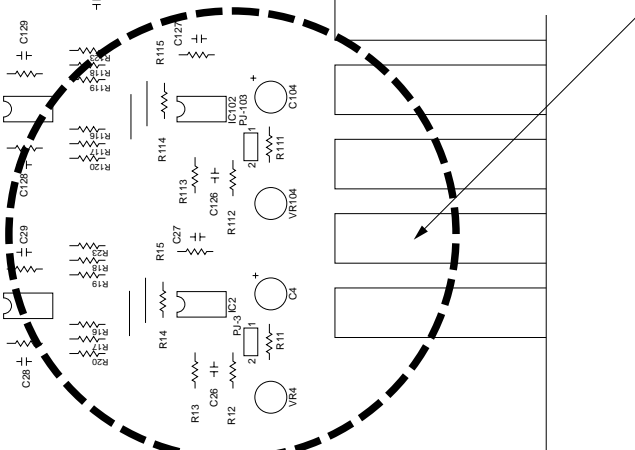
CC-22の左右のネジ（4ヶ所）及びリアパネルのネジ2ヶ所取り、カバーをはずします。



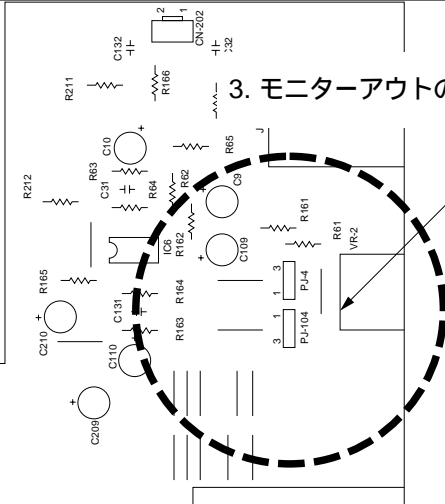
1. 入力レベルの設定



2. 出力レベルの設定



3. モニターアウトのモード設定



CALIBRATIONS

1. 入力レベルの設定

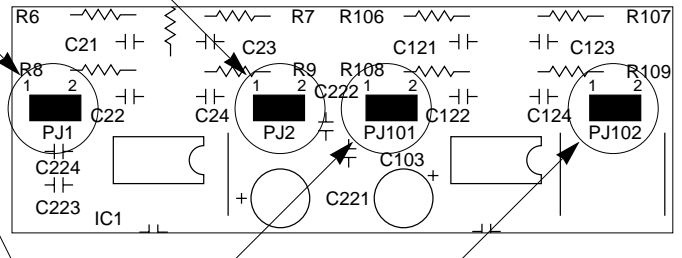
基板上のジャンパー（PJ-1, 2, PJ-101, 102）を差し替える事によって、+4dBuもしくは-10dBuのいずれかに設定します。

L-ch 入力レベル設定用ジャンパー

アリ標準+4dBu
ナシ-10dBu

R-ch 入力レベル設定用ジャンパー

アリ標準+4dBu
ナシ-10dBu



2. 出力レベルの設定、調整（PCB取りはずし）

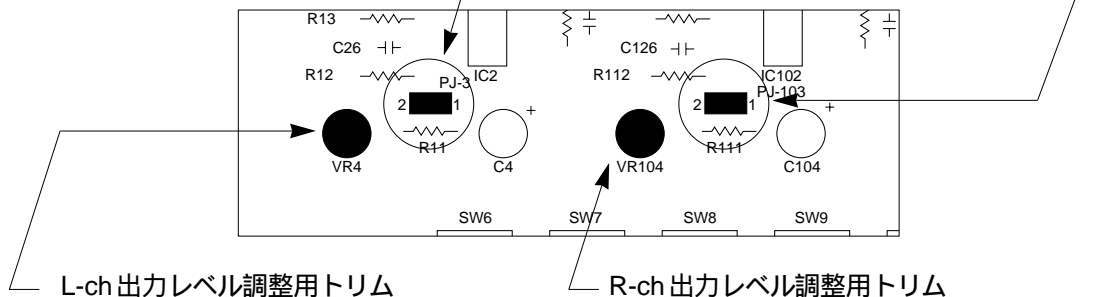
基板上のジャンパー（PJ-3, PJ-103）を差し替える事によって、+4dBuもしくは-10dBuのいずれかに設定します。
基板上のトリム（VR-4, 104）により、出力レベルを調整します。

L-ch 出力レベル設定用ジャンパー

アリ標準+4dBu
ナシ-10dBu

R-ch 出力レベル設定用ジャンパー

アリ標準+4dBu
ナシ-10dBu



L-ch 出力レベル調整用トリム

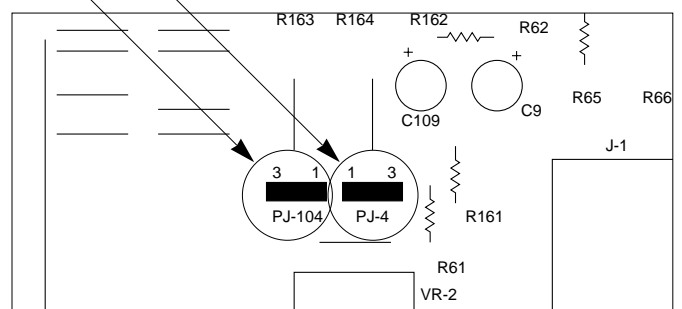
R-ch 出力レベル調整用トリム

3. モニターアウトのモード設定

基盤上のジャンパー（PJ-4, PJ-104）を差し替える事によって、モニターアウトがモニターボリュームのプリもしくはポストのいずれかを選択します。

モニターアウト・モード設定設定用ジャンパー

1-2ジャンパープリモニター
2-3ジャンパーポストモニター



TECHNICAL SPECIFICATIONS

ライン

入力レベル + 4dBu, 最大 + 26dBu
インピーダンス 10k , 電子バランス入力
出力レベル + 4dBu, 最大 + 26dBu
インピーダンス > 100 , 電子バランス出力

ラインレベル

基準の + 4dBu は、入出力それぞれ内部ジャンパーにより
-10dBu に変更が可能です。

1 ~ 4, AUX (RCA ピンジャック 入出力)

入力レベル -10dBu, -16dBu ~ 0dBu 可変
インピーダンス 10k , アンバランス入力
出力レベル -10dBu, 最大 + 10dBu
インピーダンス 1k , アンバランス出力

周波数特性

0dB \pm 0.5dB at 20Hz ~ 20kHz

歪率

Line Out < 0.03 % + 24dBu 20Hz ~ 20kHz
Rec. Out < 0.03 % + 10dBu 20Hz ~ 20kHz

S/N 比

Line to Line > 90dB 30kHz LPF
Line to Rec. Out > 80dB 30kHz LPF

消費電力

100V 50/60Hz, 最大 25VA

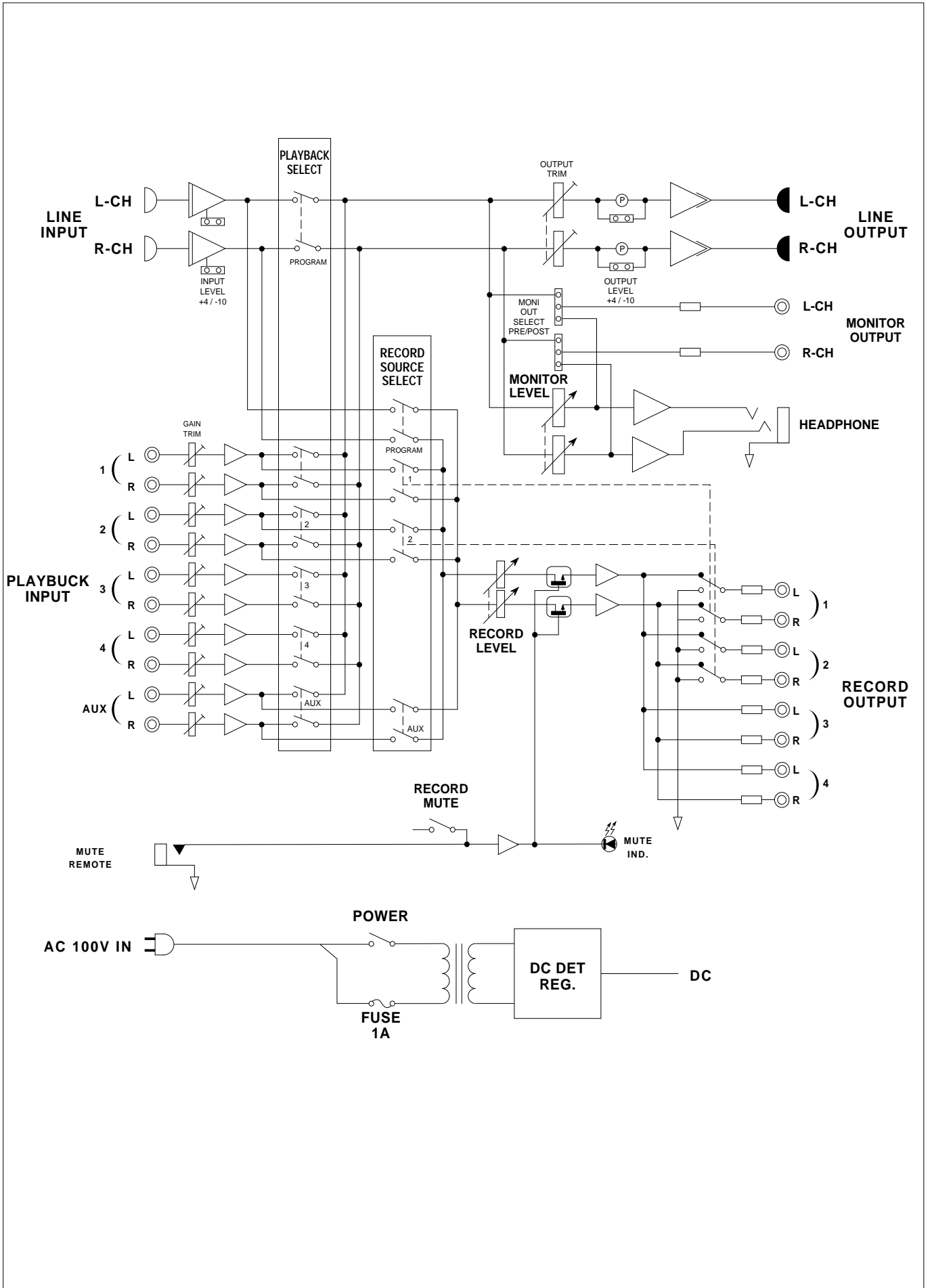
サイズ・重量

EIA 19 インチ 1U サイズ
482(W) \times 44(H) \times 250(D) mm 4kg
(但し突起物は除く。外観図参照)

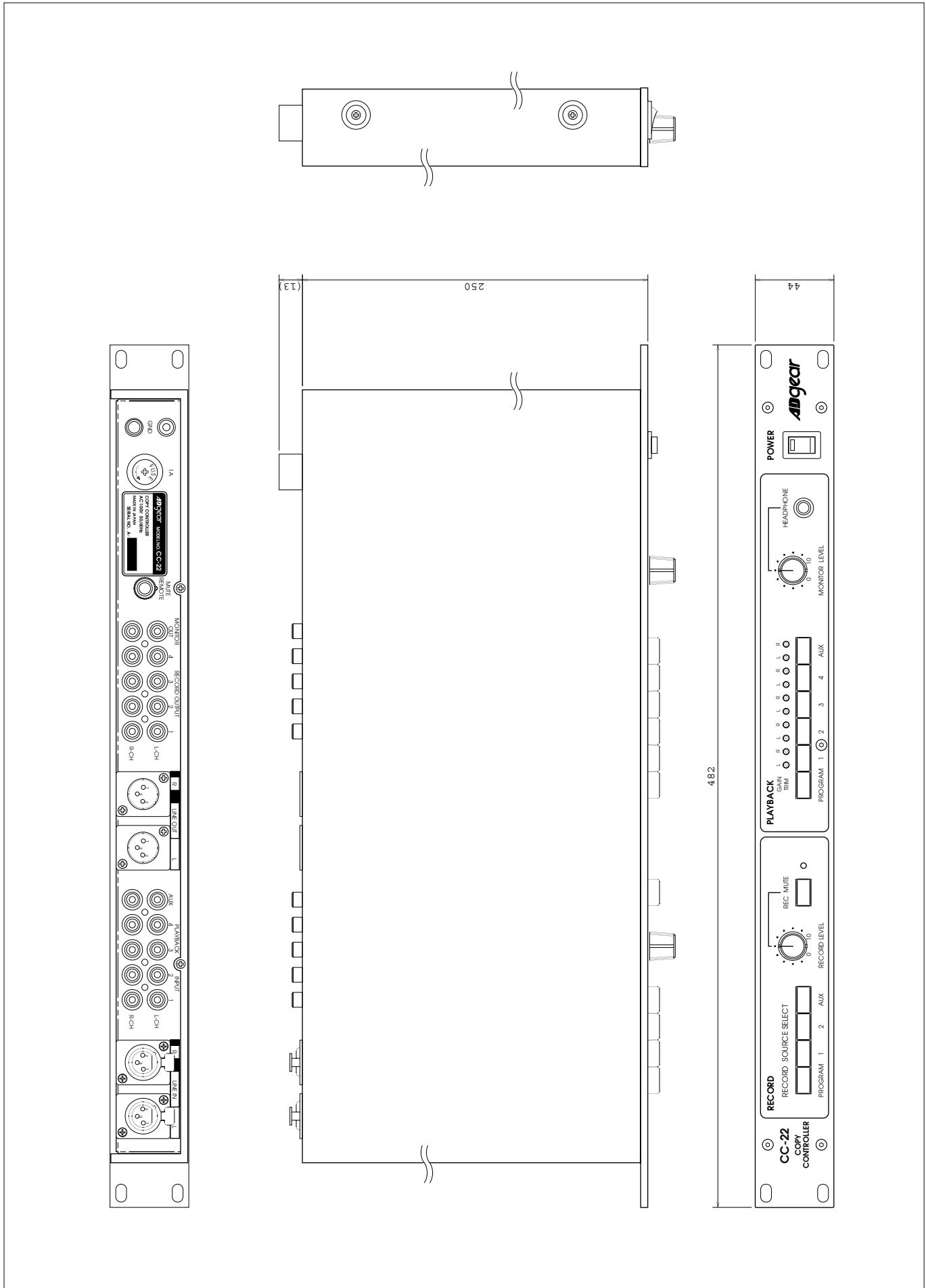
付属品

ヒューズ (1A) \times 1
調整用ドライバー \times 1
インストラクションマニュアル \times 1

BLOCK DIAGRAM



APPEARANCE



WARRANTY 製品の保証について

この度は、アイコニック製品をお買い上げ頂きまことにありがとうございます。
当社製品は下記の通り保証・サービスをさせていただきます。

御購入後1年間を保証期間とし、この期間中に正常な御使用状態で故障した場合は、無償で修理致します。

製品が故障して修理をお申し付けの場合は、故障前後の御使用状況を詳細にお知らせくださる様、お願い致します。

無償修理は、原則として機器をお持込みによるものと致します。運送業者に依託される場合は、荷造り等に充分御注意下さる様お願い致します。この時、保険を掛ける事をお奨め致します。輸送中の事故は保証範囲に含まれません。

遠隔地へ出張修理の場合は、出張に要する費用を別途お申し受け致します。

保証期間後も、サービスは有償となりますが、引続きアイコニックが責任を持ってサービスさせていただきます。

iconic
ADgear

お問い合わせ

株式会社 アイコニック

〒205-0011 東京都羽村市五ノ神1-15-7

Tel.042-579-0520 Fax.042-579-0529

